

I. 受験案内

1 アドミッション・ポリシー

■教育理念・目標

21世紀の社会で活躍できる優れた人材，高度専門職業人を育成します。

- ① 高度な知識を有し，科学的・論理的な思考で高い水準の医学系研究を遂行・発信できる研究能力を有する看護学研究者
- ② 先端的で高度専門的な臨床技能を提供できる実践能力を有する看護職
- ③ 地域，国及び国際医療に貢献ができる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い高度実践看護師

■特色

研究を通じ人類に対する高い倫理観と，豊かな人間性の涵養を目指し，看護学領域を主として構成されています。

また，学びやすいように長期履修制度や昼夜開講制度を設けています。

- ① 基礎看護学において，あらゆる看護場面に共通した看護過程の展開と看護技術，および看護管理，看護理論に関する研究を行っています。
- ② 成人看護学において，慢性病患者の生活と病いの体験，手術・救急などクリティカルな状況における看護の役割，がん患者の理解とQOLについて探求し，対象理解を基盤とした看護ケアに関する研究を行っています。
- ③ 災害看護学において，災害による人々の健康や生活への影響，被災者特性，活動現場特性を踏まえ，各災害サイクルにおける被災者に対する援助方法について研究を行っています。
- ④ 地域看護学において，生活者としての個人，家族，集団が健康な生活を送るための看護支援，地域ケアシステムの構築について研究を行っています。
- ⑤ 老年看護学において，高齢者の発達特性を基盤に，自分らしい生活の維持やQOL向上に向けたケアを探求し，自律に向けたセルフケアおよび家族支援などの研究を行っています。
- ⑥ 母子看護学において，母子を取り巻く健康問題や心身の健全な育成，助産師活動評価，周産期看護など，女性と家族のライフサイクルを視点とした研究を行っています。
- ⑦ がん看護専門看護師教育課程では，がんに関する専門的知識を深め，エビデンスに基づく，的確な臨床判断を行い，熟練した高度なケア技術とキュアの知識を用いた高度な看護実践を追究します。
- ⑧ 災害看護専門看護師教育課程では，個人・家族・組織・地域における防災・減災に向けた諸活動について人間科学の視点から探求すると共に，高度な災害看護の能力を有する専門看護師の育成を行っています。
- ⑨ 老年看護専門看護師教育課程では，複雑で多様な健康問題をもつ高齢者とその家族が尊厳のある質の高い生活を送れるよう，多角的なアセスメント能力，QOL向上に向けた卓越した高度な看護実践能力を有する専門看護師の育成を行っています。

■求める学生像

理念・目標を達成するために、

- ① 高度な専門性を有しかつ社会性に富み、
- ② 地域医療に貢献する志を持ち、
- ③ 新たな課題に取り組み、研究能力を身につける意欲がある人を求めています。

■入学者選抜の基本方針

全ての試験に面接を課し、多様な観点から受験者の学力や資質を評価することで、求める学生像に合致した入学者を選抜します。

① 一般選抜

大学を卒業した者及び同等以上の学力があると認めた者に対し、個別学力検査及び面接並びに学業成績証明書の内容を総合して選抜します。

個別学力検査では、志望する研究領域における専門的知識、語学力を評価します。

② 社会人特別選抜

大学を卒業した者及び同等以上の学力があると認めた者で、看護師、保健師又は助産師の免許を有し、一定期間の看護実務経験を有する者に対し、個別学力検査及び面接並びに学業成績証明書の内容を総合して選抜します。

個別学力検査では、論理的思考力を評価します。

2 募集人員

看護学専攻 第1回、第2回合わせて 12名（「社会人特別選抜」含む）

*第1回入学試験により定員を満たした場合、第2回入学試験を実施しないことがあります。

3 募集教育研究区分・担当教員等

教育研究区分	担当教員	連絡先
基礎看護学	長谷川 智子	0776-61-8554 hasekatz@u-fukui.ac.jp
成人看護学	磯見 智恵	0776-61-8549 ichie@u-fukui.ac.jp
災害看護学	酒井 明子	0776-61-8556 sakaiaki@u-fukui.ac.jp
地域看護学	長谷川 美香	0776-61-8566 mikah@u-fukui.ac.jp
老年看護学	四谷 淳子	0776-61-8557 jyotsuya@u-fukui.ac.jp
母子看護学	波崎 由美子	0776-61-8573 yuminami@u-fukui.ac.jp
専門看護師教育課程(CNS)	がん看護	0776-61-8549 ichie@u-fukui.ac.jp
	災害看護	0776-61-8556 sakaiaki@u-fukui.ac.jp
	老年看護	0776-61-8557 jyotsuya@u-fukui.ac.jp

出願を希望する者は、事前に志望する教育研究区分の担当教員に連絡を取り、入学後の教育・研究等について相談してください。

なお、教育研究区分別の研究内容については16～17ページ〔別表1～2〕を参照してください。

4 入学の時期

令和3年4月

5 出願資格

(1) 一般選抜

- ① 大学を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
 - ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和3年3月までに授与される見込みの者
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
 - ⑥ 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において位置付けられた教育施設であって前記⑤の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
 - ⑨ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者(短期大学、専修学校、各種学校等を卒業後、看護学関係の教育・研究機関又は医療機関で一定期間教育、研究、実務に従事した者は本項に該当します。)
- 注：出願資格⑨～⑪により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の認定が必要になります。

4ページの「6 出願資格審査」を参照してください。

(2) 社会人特別選抜

「(1) 一般選抜」の出願資格のいずれかに該当する者で、看護師、保健師又は助産師の免許を有し、令和3年4月1日時点で、看護実務経験3年以上を有する者及び有することを見込める者

6 出願資格審査

出願資格「(1) 一般選抜」の⑨～⑩に該当する者については、次の要領により事前に出願資格の認定を受けてから出願してください。

(1) 提出書類等（*印は本研究科所定の用紙）

本研究科所定の用紙1は本学のホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」からも入手可能です。

ア 出願資格⑨、⑩により出願する者

提出書類等		摘要
*	1 出願資格認定申請書	出願資格認定申請書の記入上の注意を参照のうえ、作成してください。
	2 成績証明書	在籍する大学（学部）の成績証明書で大学長等発行のもの
	3 在学証明書又は 在学期間証明書	在学中の者は在学証明書、退学した者は在学期間証明書
	4 在学する学部・学科等の 教育内容	授業科目、単位数、必修・選択の別、履修年次、その他履修要件が明記されているもの
	5 返信用封筒	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、 84円分の切手 を貼付してください。

イ 出願資格⑪により出願する者

提出書類等		摘要
*	1 出願資格認定申請書	出願資格認定申請書の記入上の注意を参照のうえ、作成してください。
	2 成績証明書	最終出身学校の成績証明書で学校長等発行のもの
	3 卒業証明書又は 修了証明書	最終出身学校の卒業証明書又は修了証明書で学校長等発行のもの。成績証明書で卒業年月が確認できれば提出不要です。
	4 返信用封筒	長形3号の封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、 84円分の切手 を貼付してください。

注：改姓により成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓したことを証明できる書類（戸籍抄本など）を添付してください。

(2) 出願資格審査申請期間・方法

・令和3年度第1回入学試験 令和2年6月29日(月)～7月3日(金)

・令和3年度第2回入学試験 令和2年11月24日(火)～11月27日(金)

出願資格審査申請書類等の提出は郵送又は持参によるものとします。

郵送の場合は、申請書類等を封筒に入れ、封筒の表に「大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）出願資格認定申請書在中」と朱書きしたうえで、書留郵便で出願資格審査受付期間内に到着するよう送付してください。

持参の場合は、出願資格審査受付期間（土日祝日を除く）の9時から17時に提出してください。

(3) 出願資格審査申請書類等の問い合わせ・提出先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

(4) 出願資格の審査方法

出願資格審査は、提出された申請書類等により行います。

(5) 出願資格審査の結果通知

審査結果の通知書を、出願期間開始の2日前までに本人宛に送付します。出願資格を認定された者は、出願手続を行ってください。

7 出願手続

出願を希望する者は、事前に志望する教育研究区分の担当教員に連絡を取り、入学後の教育・研究等について相談してください。(2ページ「3 募集教育研究区分・担当教員等」並びに16～17ページ[別表1～2]参照)

(1) 出願期間・方法

・令和3年度第1回入学試験 令和2年7月30日(木)～8月5日(水) 最終日17時必着

・令和3年度第2回入学試験 令和3年1月4日(月)～8日(金) 最終日17時必着

① 出願書類は本研究科所定の封筒に入れ、郵送又は持参するものとします。

郵送の場合は、書留速達郵便とし、それぞれの出願期間最終日の17時必着であることに十分に配慮し送付してください。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち、令和3年度第1回入学試験は令和2年8月3日(月)、第2回入学試験は令和3年1月6日(水)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。

持参の場合は、出願期間(土日祝日を除く)の9時から17時に提出してください。ただし、検定料は銀行等への振込みに限ります。

② 出願期間終了後に受験票を送付します。試験日3日前までに受験票が到着しないときは、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当(電話0776-61-8830)に問い合わせてください。

(2) 出願書類等(*印は本研究科所定の用紙及び封筒)

本研究科所定の用紙1, 6, 10は本学のホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」からも入手可能です。

提出書類等			摘要
*	1	入学志願票	入学志願票裏面の記入上の注意を参照のうえ、必ず自書してください。
*	2	受験写真票	縦4cm×横3cmの写真(正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの)を各1枚貼付してください。
	3	卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	出身大学(学部)の卒業(修了)証明書で、大学長等発行のもの。卒業(修了)見込みの者は卒業(修了)見込証明書を提出してください。なお、本学卒業者は、提出不要です。また、本学以外の卒業(修了)者であっても、成績証明書で卒業年月が確認できれば提出不要です。
	4	学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書	出願資格②に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの
	5	成績証明書	出身大学(学部)の成績証明書で、大学長等発行のもの
*	6	研究志望調書	志望する研究のテーマ及び目的、動機、内容(1,200字以内)について記述してください。

提出書類等			摘 要
*	7	検定料振込受付証明書	30,000円 と本学所定の振込依頼書を持参のうえ、最寄りの銀行等の窓口で納入(ゆうちょ銀行、郵便局は窓口にて口座からの振込みのみ可能)し、納入時に発行される「 検定料振込受付証明書 」に「振込受付日付印」が押印されていることを必ず確認し、入学志願票の所定の欄にしっかりと のり付け してください。 ※ATM、インターネット、コンビニエンスストアからは振込まないでください。 なお、検定料の振込み期間は、第1回入学試験が令和2年7月15日(水)～8月5日(水)、第2回入学試験が令和2年12月18日(金)～令和3年1月8日(金)です。詳細は、下記の「(3)検定料の振込方法」を確認してください。
*	8	返信用封筒 (受験票送付用)	志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、 374円分の切手 を貼付してください。
*	9	あて名票 (合格通知用)	合格通知先の郵便番号、住所、氏名等を明記してください。出願後に受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。

※ 出願資格の認定を受けて出願する者は、3の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及び5の成績証明書の提出は不要です。

※ 社会人特別選抜により出願する者は、上記の出願書類等の他に、以下の書類を併せて提出してください。

提出書類等			摘 要
*	10	受験許可証	在職のまま入学しようとする者は、出願に際して所属長の受験許可証を提出してください。
	11	免許証の写し	看護師、保健師又は助産師の免許証の写し(A4サイズに縮小してください)
	12	在職期間証明書	在職時の職名、勤務時間を証明できる書類

注：① 改姓により成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓したことを証明できる書類(戸籍抄本など)を添付してください。

② 証明関係書類は、原本を提出してください。

③ 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類等の返還並びに記載事項の変更は認められません。

④ 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。

⑤ 出願書類等の記載が事実と相違していることが判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

⑥ 出願資格審査において、卒業証明書(又は修了証明書)、成績証明書を提出した場合は、改めてこれらの証明書を提出する必要はありません。

⑦ 外国人留学生については、出願書類等が若干異なりますので、出願前に本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当に問い合わせてください。

(3) 検定料の振込方法

① 検定料 30,000円

② 振込期間

・令和3年度第1回入学試験 令和2年7月15日(水)～8月5日(水)

・令和3年度第2回入学試験 令和2年12月18日(金)～令和3年1月8日(金)

*出願期間とは異なります。

ただし、郵送による出願の場合、令和3年度第1回入学試験は令和2年8月5日(水)、第2回入

学試験は令和3年1月8日(金)17時必着であることに特に注意して早めに振込んでください。

③ 振込場所

本研究科所定の振込依頼書により、最寄りの銀行等の窓口で振込んでください(ゆうちょ銀行、郵便局は窓口にて口座からの振込みのみ可能)。

※ATM、インターネット、コンビニエンスストアからは振込まないでください。

④ 振込みに際しての留意事項

ア. 「振込依頼書(三連)」の依頼人の欄に入学志願者(本人)の氏名(漢字、フリガナ)、住所等の必要事項を黒又は青のボールペン(消せるボールペンは使用不可)で正確に記入してください。

イ. 「検定料振込受付証明書」を窓口から受け取る際には、必ず銀行等の振込受付日付印があるか確認してください。

ウ. 「振込受取書」は受領書ですので志願者本人が大切に保管してください。また、この用紙を「検定料振込受付証明書」の代わりに入学志願票に貼り付けないでください。

エ. 振込手数料は、入学志願者本人の負担となります。

⑤ 出願に際しての留意事項

ア. 入学志願票に検定料振込み依頼済みの「検定料振込受付証明書」を貼り付けた後に、入学志願票の記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい入学志願票に書き換えなければならない場合は、振込み済みの「検定料振込受付証明書」を入学志願票ごと切り取って、新しい入学志願票の所定の欄に貼り付けてください。検定料は二重に振込まないでください。

イ. 検定料が振込まれていない場合又は振込受付日付印があっても「検定料振込受付証明書」が入学志願票の所定の欄に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。

⑥ 検定料の返還に関する留意事項

出願書類等を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振込み済みの検定料は返還しません。該当者は、速やかに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当に問い合わせてください。

ア. 検定料を振込んだが、本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願書類等が受理されなかった)場合

イ. 検定料を誤って二重に振込んだ場合

* 検定料の返還請求の方法

①請求者氏名(自署)・フリガナ・押印、②現住所、③連絡先電話番号、④志望大学院・専攻名、⑤返還請求の理由、⑥自己受取用の銀行名・支店名・預金種別・口座番号・口座名義(フリガナ:志願者本人名義)を明記した検定料返還請求願(①～⑥が明記されていれば、特に様式は問いません)を作成し、必ず振込受付日付印のある「検定料振込受付証明書」を添付して、本学に提出してください。

問い合わせ・請求(送付)先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

8 障がいのある入学志願者等の事前相談

本研究科入学志願者で、疾病・負傷や身体障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願期間開始14日前までに本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へ申し出てください。

ただし、期限後に不慮の事故等により身体に障がいをもつこととなった場合には、速やかに相談してください。

9 入学者選抜方法

入学者の選抜方法は、一般選抜、社会人特別選抜とも、提出された成績証明書、研究志望調書及び学力検査等（筆記試験、面接）の結果を総合して合格者を決定します。

(1) 学力検査等の期日

・令和3年度第1回入学試験日 令和2年9月1日(火)

・令和3年度第2回入学試験日 令和3年1月22日(金)

(2) 学力検査科目等及び時間

科目等	時間	一般選抜	社会人特別選抜
専門科目 (基礎看護学, 成人看護学, 災害看護学) (地域看護学, 老年看護学, 母子看護学)	9:00 ~ 10:30	○	
英語	11:00 ~ 12:00	○	
小論文	11:00 ~ 12:00		○
面接	13:00 ~	○	○

(備考)

- ① 一般選抜における専門科目は、「基礎看護学」、「成人看護学」、「災害看護学」、「地域看護学」、「老年看護学」、「母子看護学」から第1志望の教育研究区分の1題を含め、2題を選択し、解答してください。がん看護専門看護師(CNS)教育課程を志望する場合は、「成人看護学」を含め2題を、災害看護専門看護師(CNS)教育課程を志望する場合は、「災害看護学」を含め2題を、老年看護専門看護師(CNS)教育課程を志望する場合は、「老年看護学」を含め2題を選択し、解答してください。
- ② 小論文は、英文及び和文を用いて出題し、和文で解答を求めます。
- ③ 英語及び小論文の試験については、英和辞書（電子辞書類を除く）1冊の持ち込みを許可します。ただし、医学辞書、参考書（単語帳を含む）を辞書代わりに使用することは認めません。
- ④ 社会人特別選抜における面接においては、看護に関する専門知識の口頭試問を行います。

(3) 受験上の注意事項

- ① 試験当日は、試験開始20分前までに試験室に入室してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合には、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。この場合、試験時間の延長は認めません。
- ③ 本研究科が課す学力検査等を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
- ④ 受験中は受験票を常に携帯し、筆記試験の際には机上の受験番号票に並べて提示してください。なお、受験票を忘失・紛失（または破損）した場合には、係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。
- ⑤ 試験において使用を許可するのは鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、メガネ、

英和辞書（英語及び小論文の試験のみ）、時計に限ります。

- ⑥ 計時以外の機能を持った時計の使用は認めません。なお、試験室には時計はありません。
 - ⑦ 携帯電話・スマートフォン等の通信機器や音の出る機器は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、かばんに入れてください。また、試験監督者からの通信機器等に関する注意や指示に従わない場合は、不正行為とみなすことがありますので、留意してください。
 - ⑧ 試験終了時までは、試験場（面接控室含む）外へ出ることはできません。また、学力検査等の受験中は退室を認めませんが、体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - ⑨ 昼食が必要な者は持参し、休憩時間中に試験室内で適宜食事をしてください。
 - ⑩ 試験当日、自家用車で来た場合には、第1駐車場又は第2駐車場（巻末の試験場案内図を参照）に駐車してください。
- (4) 試験場
福井大学松岡キャンパス 看護学科棟 （巻末の位置図及び試験場案内図を参照）

10 合格者発表

- ・令和3年度第1回入学試験 令和2年9月18日(金) 10時
- ・令和3年度第2回入学試験 令和3年2月19日(金) 10時

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。なお、電話等による照会には一切応じません。

11 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付します。入学手続に関するすべての事項は、合格者本人がこの入学手続要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、本研究科への入学を辞退したものと取り扱います。

(1) 入学手続期間・方法

- ・令和3年度第1回入学試験 令和2年9月23日(水)～28日(月) 最終日17時必着
 - ・令和3年度第2回入学試験 令和3年3月15日(月)～18日(木) 最終日17時必着
- 入学手続書類等は本学所定の封筒に入れ、郵送又は持参するものとします。**

郵送の場合は、書留速達郵便とし、令和3年度第1回入学試験は令和2年9月28日(月)、第2回入学試験は令和3年3月18日(木)17時必着であることに十分配慮して送付してください。期間後に到着したものはいかなる理由があっても一切受理しないので、郵便事情等を考えて早めに送付してください。（期日前到着は可）

持参の場合は、入学手続期間（土日祝日を除く）の9時から17時に提出してください。

(2) 入学手続書類等の提出先

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当 電話 0776-61-8830

(3) 入学手続時に要する経費

入学金 282,000円（予定額）

授業料 前期分 267,900円 年額 535,800円（予定額）

注：① 入学時及び在学中に入学金・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学金・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」に記載します。

- ② 入学料・授業料については、本人の申請により選考のうえ、免除される制度があります。詳細は合格者宛送付の入学手続要項で通知します。(12ページ「Ⅲ. 入学案内」参照)

12 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害する恐れがない場合で、学術研究の目的のために提供する場合

(問い合わせ先) 福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当
電話 0776-61-8830

Ⅱ. 研究科案内

1 目的

本学医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、専門分野の研究能力を高めるとともに、看護学の基盤となる幅広い領域の知識の修得及び実践・研究能力を育てることにより、高度な看護実践の専門職、教育・研究者を養成することを目的としています。

2 修業年限

2年を標準とします。

3 入学定員

12名

4 授業科目及び単位数

別表1（16ページ）のとおり

5 教育研究区別研究概要及び担当教員の連絡先

別表2（17ページ）、「3 募集教育研究区分・担当教員等（2ページ）」のとおり

6 長期履修制度

本学医学系研究科看護学専攻（修士課程）に入学しようとする者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修することを希望する者は、合格後に本学学務部松岡キャンパス学務課大学院担当（電話 0776-61-8247）に問い合わせてください。

7 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例

近年、大学院における社会人の再教育への要請が高くなっています。また、看護の現場においての臨床経験、実践経験を有することは、看護学をより深く研究するために重要です。しかし、これらの有職者が大学院に進学するためには、その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、本学医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、これら有職者が離職することなく修学し、修了後には、現職機関において働き続けることが可能となるよう、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」による教育を実施します。

教育方法の特例を受ける者は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受講を認めることがあります。

8 学位

(1) 授与学位は、修士（看護学）です。

(2) 修士の学位は、大学院に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び試験に合格した者に授与します。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

Ⅲ. 入学案内

1 入学料免除及び徴収猶予

入学前1年以内において、本人の学資を主に負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡もしくは失職（定年退職，自己都合退職を除く）した者，本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，本人の申請により選考のうえ，入学料の全額又は半額を免除することがあります。

また，経済的理由により入学料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者に対しては，本人の申請により選考のうえ，入学料の全額もしくは半額を免除又は徴収を猶予することがあります。

2 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀であると認められる者又は入学前1年以内（入学後は各期の6月以内）において，学資負担者が死亡もしくは失職（定年退職，自己都合退職は除く）した者，又は本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，本人の申請により選考のうえ，授業料の全額又は半額を免除することがあります。

3 大学院入学時成績優秀による授業料免除

学校，官公庁，医療機関などに勤務している社会人にあつては，大学院入学時の成績が優秀な者，並びに特別なプログラム等の入学者について，入学後1年間（前期及び後期，ただし前期の成績如何によっては，後期の免除について許可しないこともあります）の授業料を半額免除する制度があります。

4 奨学金制度

(1) 独立行政法人日本学生支援機構

人物，学業ともに優秀であり，経済的理由により修学が困難であると認められる者に対して，次の奨学金貸与の制度があります。

第一種奨学金（無利子）	月額 50,000 円， 88,000 円から選択
第二種奨学金（有利子）	月額 50,000 円， 80,000 円， 100,000 円， 130,000 円， 150,000 円から選択

(2) 福井大学大学院医学系研究科振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科の高度専門医療人育成を図ることを目的とした奨学制度です。詳細については，本学学務部松岡キャンパス学務課学生担当（電話 0776-61-8266）へ問い合わせてください。

5 保険制度

(1) 学生教育研究災害傷害保険

任意加入の保険です。教育研究活動（正課，学校主催行事，課外活動），通学中などの災害事故に対する保険制度で，教育研究活動・通学中に生じた不慮の事故によって，身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。

(2) 学研災付帯学生生活総合保険


日常生活における傷害はもとより，他人に対する傷害，財物の損壊などの賠償責任に対し，保険金が支払われます。

この保険は，(1)の学生教育研究災害傷害保険に加入が条件となります。

IV. 学生募集要項の請求方法

1. テレメールによる請求方法


(1) 福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) の「受験生の方へ」内の「入試資料の請求」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールホームページ（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または自動音声応答電話による請求方法


① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・携帯電話・スマートフォン)	https:// telemail.jp	 携帯電話・スマートフォンならQRコードを読み取るだけでアクセスできます。
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約12円です。 ※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりと話してください。登録された音声不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。	

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
医学系研究科看護学専攻（修士課程）学生募集要項	583422

③ ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・ 請求してから3～5日後に資料が届きます。
受付時間や地域、配達事情によっては到着まで7日以上かかる場合もあります。
- ・ 送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)
- ・  テレメールでの請求方法についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで

2. 郵送による請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

(1) 返信用封筒送付による請求

210円分（募集要項1部の場合）の郵便切手を貼った「返信用封筒」（角形2号 24cm×33cm）を同封のうえ、下記請求先に送付ください。返信用封筒には、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名を明記してください。なお、大学あての封筒の表には、「大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）学生募集要項請求」と朱書きし、裏には、請求者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

請求先 〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

(2) 着払い利用

申し込みの際は、件名に「大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）学生募集要項請求」と明記し、送付先(請求者)の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、本学学務部松岡キャンパス学務課入試担当へメール又はFAXにより申し込んでください。「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail: m-nyushi@ml.u-fukui.ac.jp

FAX: 0776-61-8163

3. 窓口での請求方法

以下の本学窓口で配布します。(祝日を除く月～金曜日の9:00～17:00)

(松岡キャンパス) 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務課入試担当

(文京キャンパス) 福井市文京3-9-1

福井大学学務部入試課

2020年度 授業科目一覧表

【別表1】

教育研究区分	授業科目	配当年次	開設単位	履修時間数			学生の所属教育研究区分							CNS学生	単 位 修 得		
				講義	演習	実習	基礎	成人	災害	地域	老年	母子	がん			災害	老年
共通科目	看護研究	1	2	30			●	●	●	●	●	●	△	△	△	指導教員の指導により下記のとおり修得しなければならない。 ●科目は必修 △科目から10単位以上選択 ☆どちらか一方、または両方を選択	
	看護倫理	1	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護理論	1	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護教育論	1	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護管理論	1	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	看護政策論	1	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	コンサルテーション論	1	2	30			△	△	△	△	△	△	△	△	△		
	ヘルスアセスメント	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●	●	●		
専門科目	基礎看護学	1	2	30			●	△	△	△	△	△				基礎看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●基礎看護学領域の3科目18単位 ●地域看護学特論2単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得	
	成人看護学	1	4	120			●										
	成人看護学特別研究	2	12	360			●										
	成人看護学特論	1	2	30			△	●	△	△	△	△					
	成人看護学演習	1	4	120				●									
	成人看護学特別研究	2	12	360				●				☆					
	災害看護学	1	2	30			△	△	●	△	△	△					
	災害看護学演習	1	4	120					●								
	災害看護学特別研究	2	12	360					●				☆				
	地域看護学	1	2	30			△	△	△	●	△	△					
	地域看護学演習	1	4	120						●							
	地域看護学特別研究	2	12	360						●							
	老年看護学	1	2	30			△	△	△	△	●	△					
	老年看護学演習	1	4	120							●						
	老年看護学特別研究	2	12	360							●			☆			
	母子看護学	1	2	30			△	△	△	△	△	●					
母子看護学演習	1	4	120								●						
母子看護学特別研究	2	12	360								●						
がん看護	がん看護学特論Ⅰ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●		がん看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●災害看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得		
	がん看護学特論Ⅱ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	がん看護学特論Ⅲ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	がん看護学特論Ⅳ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	がん看護学特論Ⅴ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	がん看護学演習Ⅰ	1	2	60									●				
	がん看護学演習Ⅱ	1	2	60									●				
	がん看護学実習Ⅰ	2	2	90									●				
	がん看護学実習Ⅱ	2	2	90									●				
	がん看護学実習Ⅲ	2	4	180									●				
	がん看護学実習Ⅳ	2	2	90									●				
	がん看護学課題研究	1・2	2	60									☆				
	災害看護	災害看護学特論Ⅰ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			災害看護学を専門とする学生 ●看護研究2単位 ●老年看護学の3科目18単位 △共通科目又は他の特論科目から10単位以上 計30単位以上を修得
		災害看護学特論Ⅱ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●			
災害看護学特論Ⅲ		1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
災害看護学特論Ⅳ		2	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
災害看護学演習Ⅰ		1	2	60									●				
災害看護学演習Ⅱ		2	2	60									●				
災害看護学演習Ⅲ		2	2	60									●				
災害看護学実習Ⅰ		2	2	90									●				
災害看護学実習Ⅱ		2	3	135									●				
災害看護学実習Ⅲ		2	2	90									●				
老年看護	災害看護学実習Ⅳ	2	3	135									●				
	災害看護学課題研究	1・2	2	60									☆				
	老年看護学特論Ⅰ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	老年看護学特論Ⅱ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	老年看護学特論Ⅲ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	老年看護学特論Ⅳ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	老年看護学特論Ⅴ	1	2	30			△	△	△	△	△	△	●				
	老年看護学演習Ⅰ	1	2	60									●				
	老年看護学演習Ⅱ	1	2	60									●				
	老年看護学実習Ⅰ	1	2	90									●				
老年看護学実習Ⅱ	2	4	180									●					
老年看護学実習Ⅲ	2	4	180									●					
老年看護学課題研究	1・2	2	60									☆					

※CNS学生は専門看護師教育課程のこと。

教育研究概要

【別表2】

教育研究区分	研究概要	
基礎看護学	<p>看護ケアの質の評価, 看護者と患者のかかわりのプロセス, 看護者の健康管理に関する問題, 健康障がいと保健行動, 看護援助のプロセスの中で生じている看護現象, 援助技術の科学的根拠など基礎看護学領域に関する課題について, 量的, 質的に研究する。</p> <p>看護の対象である人間の身体的, 精神・心理的, 社会的側面から評価する為のアセスメントツールの開発をする。また, 看護ケアが及ぼす生理的・心理的効果について実験研究を通して科学的・心理学的評価を行う。</p>	
成人看護学	<p>身体的健康問題もしくは精神疾患をもつ成人期にある人及びその家族を対象とした看護について, 発達理論, セルフケア理論, 危機理論, ストレス・コーピング理論, 精神力動理論, そして対人関係理論などの主要理論を基盤に探求する。</p> <p>主要課題は, 成人期にある人の健康問題と健康管理行動の認識と構造, セルフケア理論を活用した健康ケアとその効果, 慢性的な健康障がいにおける対象の生活の質, 手術・救急などクリティカルな健康障がいにおける対象の特性と援助プロセス及びその効果, 精神看護学領域における中範囲理論の構築, 並びに個人及び集団を対象とした看護介入と評価である。</p>	
災害看護学	<p>災害が社会の変化や地域の人々の暮らしと密接に関係しながら, 人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し, 社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期の看護活動を探求する。災害時の諸問題にアプローチする実践的な援助方法や被災者および支援者が抱える諸問題や看護介入について研究する。</p>	
地域看護学	<p>地域に在住する乳幼児から老人までのさまざまなライフステージの人々を対象者として, ヘルスプロモーション, 疾病予防, 疾病の回復促進, リハビリテーション, QOLの向上のための看護支援を探究する。</p> <p>地域住民の健康レベルは健康な人から疾病・障がいをもって生活する人まで多様である。それらの人々が個人, 家族, グループとして最大限に健康を達成するための効果的な地域ケアシステムの構築と評価, 在宅看護支援及び介護者支援, 家族支援について探究する。</p>	
老年看護学	<p>高齢者を取り巻く急激な環境の変化の中で, 高齢者が自分らしい生活の維持や QOL 向上を獲得するための援助, 高齢者の個別性を尊重し, 自律に向けたセルフケア及び家族参加を含めた援助方法を探求する。さらに, ライフサイクルにおける高齢期や高齢者を特徴づける現象や障がいに視点を置き, 加齢現象, 社会的背景, 倫理的側面を考慮した看護実践を研究する。</p>	
母子看護学	<p>母子を取り巻く健康問題, 母子の心身の健全な育成, 周産期における母子の看護支援, 助産師活動とケアの質の評価, 更年期にある人の健康問題など, 母子看護学に関連した研究課題について, 女性と家族のライフサイクルの視点で探究する。</p> <p>また, 胎児期からの小児の疾病について医学的側面から教授し, 小児期の慢性疾患を有する患者とその家族が直面する医療上の問題を検討, 地域保健の視点をも含めた問題解決法について研究する。</p>	
専門看護師教育課程(CNS)	がん看護	<p>がん看護に関する病態生理, 診断, 治療の原理と最新情報, がん看護の基盤となる看護理論, 看護援助論などの専門的な知識を深め, 高度な知識・技術を用いて, がん治療に伴う看護, がん患者の苦痛・苦悩に対する看護, 治療後の生活調整支援など, がん患者及び家族の QOL の向上のための看護援助を科学的に探求する。さらに, がん医療を取り巻く健康上の諸問題に関して, 看護学の視点から実証的な研究を行う。</p>
	災害看護	<p>災害による人々の健康や生活への影響, 被災者特性, 活動現場特性を踏まえ, 各災害サイクルにおける被災者に対する援助方法を探求する。行政・住民組織・他職種・ボランティア等との連携・協働・必要時組織化の重要性を理解し, 災害時の人々の生活と健康支援に向けて, 社会システムや医療・看護ケア提供体制を検討する。個人・家族・組織・地域における防災・減災に向けた諸活動, 人々の危機管理意識を啓発する諸活動について人間科学の視点から探求する。</p>
	老年看護	<p>歴史的・社会的存在としての高齢者の理解を深め, 老化過程や生活の営みに関連する健康問題に対してサクセスフルエイジングを主要概念とした援助方法や, 高齢者の価値観や個別性に着目し, 高齢者がその人らしく生活するための支援や, 認知症高齢者と家族への支援など探究する。高齢者のセルフケア能力の開発に貢献するケア方法, 高齢者と家族が有する多様なニーズ, 課題への創造的・先駆的に取り組みにむけた実証的な研究を行う。</p>